

財団法人東京顕微鏡院創立五十年記念祝典

◇本院役員及び職員に授與せられたる表彰状。

◇當日記念祝賀の爲め、寄贈せられたる芳名、品目を掲げて謝意を表す。

〔役員ノ分〕  
表彰状

多年本院ノ發展ニ盡瘁セラレ其ノ功績洵ニ顯著ナリ茲ニ創立五十年記念式典ヲ舉クルニ當リ記念品ヲ贈呈シテ之ヲ表彰ス

昭和十五年十月一日

財団法人東京顕微鏡院

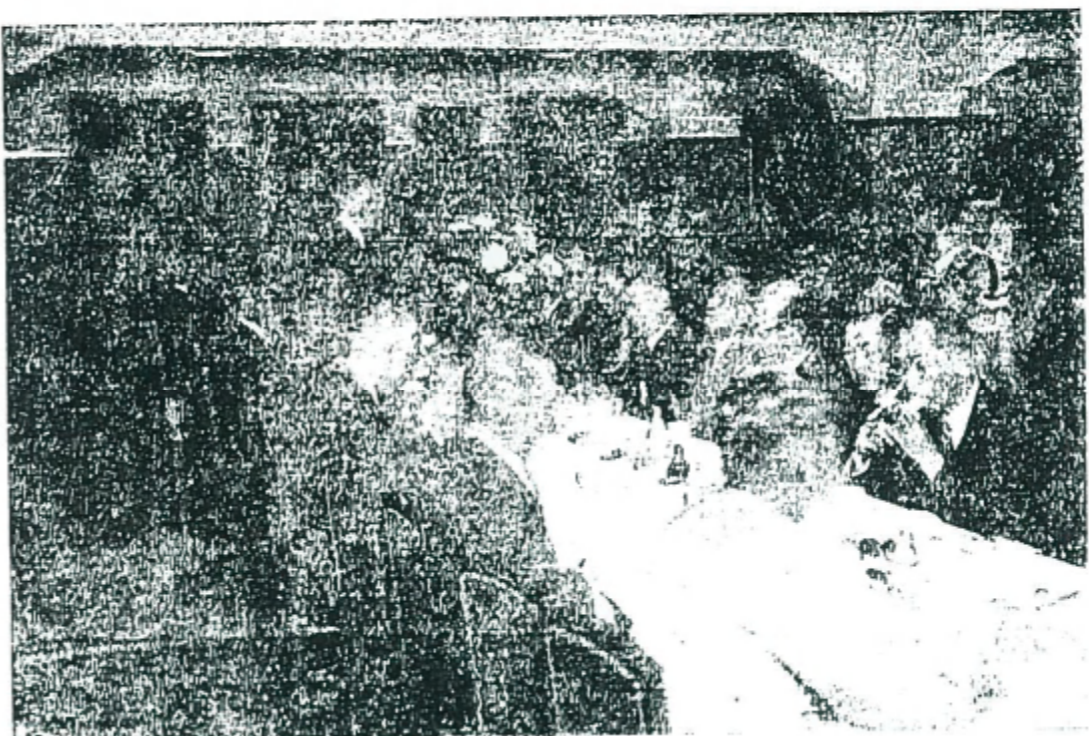
〔職員ノ分〕

表彰状

恪勤多年院務ニ精勵セラレ功績洵ニ尠カラス茲ニ本院創立五十年記念式典ヲ舉クルニ當リ記念品ヲ贈呈シテ之ヲ表彰ス

昭和十五年十月一日

財団法人東京顕微鏡院長 遠山 正路



同 上 宴 會 場 ノ 部

九四

- 一金五十圓 遠山 正路殿
- 一金二十圓 遠山 康殿
- 一金五圓 中根雄太郎殿
- 一接眼ミクロメーター 一個
- 一對物ミクロメーター 一個
- 松本 福松殿
- 一生 華 二瓶
- 後藤 セイ殿

◇尚東京顕微鏡學會より寄附金のありたることは、會報所報の如くなるが、這次該寄附金を以て、顯微鏡一臺を購入、検査部に備へたり。

◎編輯に就き

今回顯微鏡院創立五十年記念號發刊のため、第四十七卷第五號と第六號を合冊にして發行致しました。何卒御了承あらむ事を希上げます。

東京顕微鏡學會雜誌第四十七卷第五・六號附録

財団法人 東京顕微鏡院一覽 第四版

昭和十五年十月





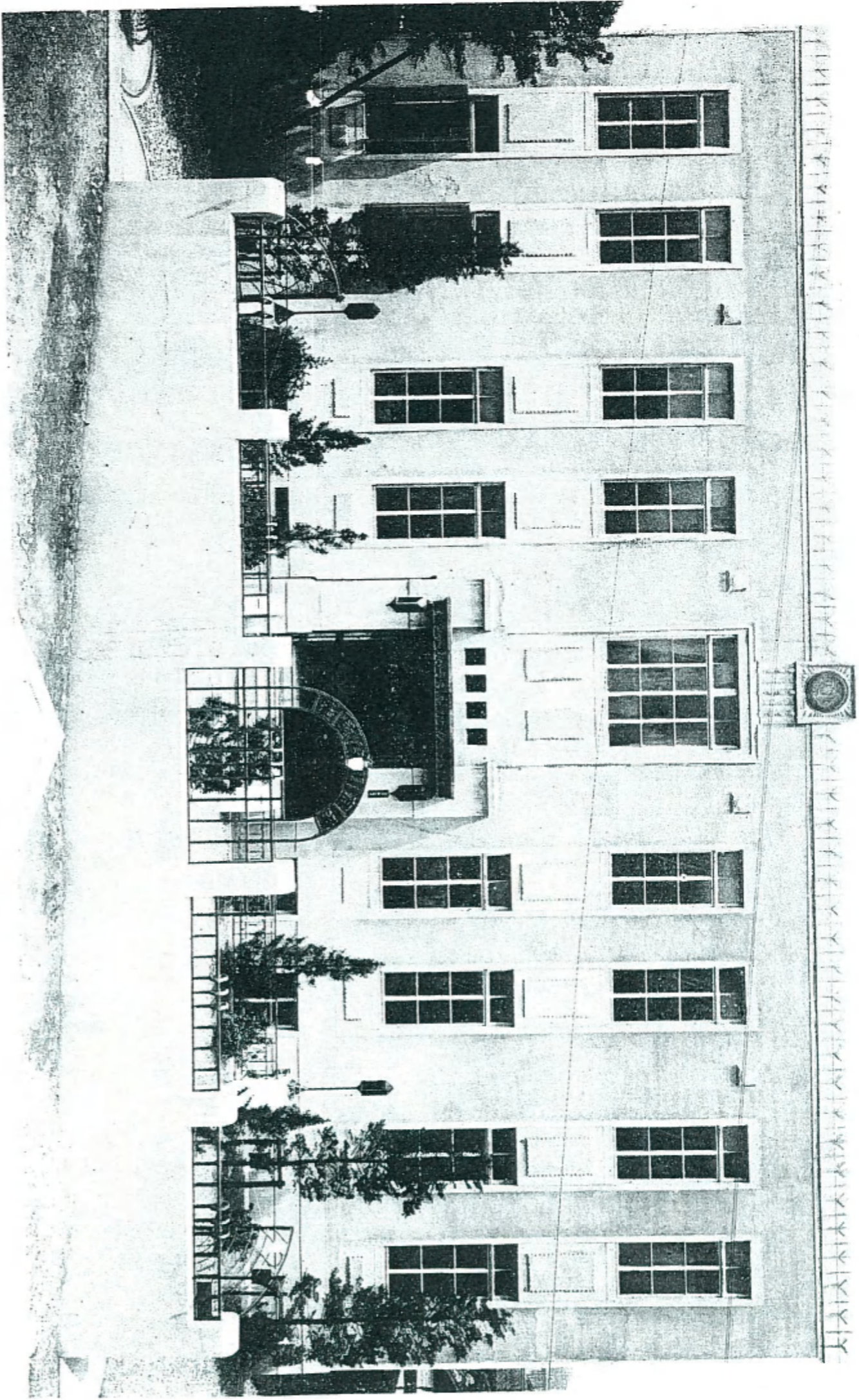
現  
院長  
山正路  
ドク  
チネ  
ル



創立者  
前院長  
山吉  
故博士  
醫學博







院 鏡 微 顯 京 東 財 團 法 人

財團 法人 東京顯微鏡院一覽第四版ノ序

東京顯微鏡院ハ明治四十四年四月創立二十年記念式ヲ舉ゲ且雜誌「顯微鏡」第一百號ニ達シタルヲ記念シテ東京顯微鏡院要覽ヲ刊行セリ。  
 大正五年四月創立二十五年兼改築落成記念會ニ際シ「東京顯微鏡院一覽」ヲ刊行セリ。次ニ大正十四年十月罹災後復興新築落成記念會ニ際シ一覽第三版ヲ刊行セリ。  
 今茲ニ昭和十五年十月創立五十年記念式ヲ舉グルニ當リ第四版ヲ發刊ス、此第四版ハ第三版以後ノ事實ヲ追加シ且現況ヲ記錄セルモノナリ。



第一	綱領
第二	沿革
第三	事業ノ成績
第四	院舎及設備
第五	事業及組織
第六	諸規定

財團東京顯微鏡院一覽 第四版

第一 綱領

東京顯微鏡院ノ創立ハ實ニ明治二十四年百花燎亂タル四月ニテ在リシナリ。此年ヤ結核、虎列刺ヲ初メ幾多不明ノ病原ヲ發見シ、醫學史上一大革新ヲ與ヘテ名聲轟々世界ノ耳目ヲ驚カシタル曠古ノ偉人ローベール・コッフ氏ガ結核治療劑トシテつべるくりんヲ發表シタルノ秋ナリシナリ。蓋シ我邦ノ實驗的醫學未ダ一般醫界ニ普カラズ、細菌學の診斷ノ應用殆ド見ルニ足ルモノナシ。此進歩遅々タル現狀ニ慊焉タル吾人ハ不敏自ラ揣ルニ邊ナク、蹶然起テ一ノ私立試驗所ヲ設ケ、實地醫家ノ補助機關トナリ、細菌學の・顯微鏡的試驗ヲ實行セント聲明シタルモノハ即チ東京顯微鏡院ナリシナリ。

如上ノ綱領ヲ提ゲテ事業ノ首途ニ上リシ東京顯微鏡院ハ、爾後峻坦起伏幾多ノ行路ヲ歩ミ來ルコト茲ニ五十年、此間生物科學ノ趨勢ヲ觀レバ、細菌形態ノ追究ニ餘念ナカリシ時代ハ早クモ去リテ、原蟲界ノ闡明ニ進ミ、轉ジテ血清學ノ新天地ヲ拓キ、更ニ轉ジテ化學的療法トナリ、三轉シテわくちん免疫ノ領域ヨリ、最近廣義ノ生物學の治療ノ堂奥ニ闖入セントスルノ概アリ、進展殆ド究極スル所ナシ。斯クシテ得タル理論ハ取テ以テ診斷上ノ應用トナリ、又治療上ノ材料トナリ。此間ニ處シ來レル本院ノ使命ハ學術ノ進運ト共ニ重キヲ加ヘ、遂ニ多般ノ業務ヲ施行スルニ至レリ。今事業ノ要旨ヲ擧グレバ次ノ如シ。

- 一 日新醫學ノ研究及輓推
- 二 衛生思想ノ普及及宣傳
- 三 醫事衛生材料ノ検査